

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	伊予地域公民館活動事業			会計区分	1	一般会計		所管部署	社会教育課				
				予算科目	10	款	5					項	2
事業番号	4720-1			事業区分	政策的事業【任意】			□	重要事業	シート入力	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
評価の種別	☑ 詳細評価			□ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）					所属長名	岡市	小笠原	小笠原	
総合計画での位置づけ	基本目標	生涯学習都市の創造											
	基本施策	生涯にわたり学習できる環境づくり											
根拠法令等	伊予市公民館設置条例、伊予市公民館管理規則												
関係する計画等	伊予市教育大綱、社会教育基本方針												
事業の目的 【ゴール】	対象	市民											
	意図	地域の社会教育関係団体と協力し、地域性を生かした事業を展開することで、生涯にわたり学習できる環境づくりや地域コミュニティの維持・発展に寄与する。											
事業内容 【アクティビティ】	中央公民館：伊予市全域を対象とした事業を実施 郡中地区公民館、上野地区公民館、中村地区公民館、大平地区公民館：地域の諸団体と協力し、地域性を生かした事業を実施												
具体的な内容、 どのような方法で 実施しているのか													
事業の実施方法	☑ 直営 ☑ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他（												

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度 最終判断 現状維持	事業遂行に係る課題・改善点 価値観の変化、人口減少、共働き世帯の増加もあり、事業実施に当たっての人員確保が困難な点や参加者の減少などがみられ、地域住民の負担軽減やニーズを満たした事業の実施が求められる。	⇒	課題解決に向けた具体的な方策等 事業を実施するに当たっては、公民館運営委員会や実行員会開催時に委員から地域の実情の聞き取りを行い、地域住民の負担軽減や、多くの方が参加しやすい事業内容なるよう協議を十分に行う。	⇒	左記に対する対応状況 各公民館とも、公民館運営委員会や実行委員会で協議を行い、必要に応じて事業の廃止や変更、新規事業の実施に取り組んでいる。
---	--	---	---	---	---

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）						事業費の内訳							
項 目		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	例 年 支 出 の あ る も の 臨 時 的 な も の	節	細 節	事業費（千円）				摘 要 ※代表的なものを簡潔に
予 算	当 初 予 算	2,417	2,439	2,467	2,085		報償費		162	230	233	343	各地区公民館講師謝金
	補 正 予 算						旅費		0	0	0	0	
	前年度から繰越						需用費		169	252	189	188	各地区公民館事業関係消耗品
	予 備 費 等						役務費	通信運搬費	37	63	27	98	各地区公民館郵送料
	計	2,417	2,439	2,467	2,085		役務費	手数料	0	10	10	10	中村公夏まつりやぐら設置手数料
決 算	執 行 額	383	1,655	1,341			委託料		0	1,005	830	1,380	市民運動会委託料
	翌年度へ繰越						使用料及び賃借料		15	95	52	66	
財 源 内 訳	国庫支出金												
	県 支 出 金												
	地 方 債												
	そ の 他												
	一 般 財 源	383	1,655	1,341	2,085								
執行率（％）		15.8%	67.9%	54.4%									
当初予算＋補正予算に 対する執行額の割合(％)		15.8%	67.9%	54.4%									
正規職員の人工数		0.50	0.50	0.50									
1人工当たりの人件費単価		7,794	7,765	7,895			上記以外の事業費合計						一般事務費、上記で書き表せないもの
※ 執行額＋人件費		4,280	5,538	5,289			事業費の総計		383	1,655	1,341	2,085	

事業活動の実績【アウトプット】

活動指標	活動実績の達成度を測る指標		単位	目指す方向性	R 4	目標実績	R 5	目標実績	R 6	目標実績	達成度		令和 4 年度の振り返り	令和 5 年度の振り返り	令和 6 年度の振り返り				
	指標①	青少年教育	回	➡	10		10		10		かなり達成 (80%以上)	活動成果や課題等	コロナ禍により、計画していた事業が中止となり、満足な活動ができなかった。	各地区館ともに、各事業について、継続が変更かを検討することになり、事業の実施状況にもばらつきが見られた。また、市民のニーズに合わせて新規事業を開始するなど、アフターコロナに合わせた活動を行った。	事業の見直しも終わり、新しい形での事業の実施が各地区館ごとに行えた。				
					6		15		9										
	指標②	成人教育	回	➡	40		40		40		かなり達成 (80%以上)					課題への改善提案	コロナ禍により、従来通りの事業を継続すべきかどうか、各地区公民館ごとに議論をしていく。	市民のライフスタイルや価値観の変化に伴い、事業の見直しを行い、生涯学習の継続、地域コミュニティの維持に資するよう努める。	市民のニーズに合わせた事業を実施するためにも、引き続き公民館運営委員会等で意見集約及び事業の改善を図っていく。
					32		56		36										
	指標③	高齢者教室	回	➡	32		32		32		かなり達成 (80%以上)	課題への改善提案	コロナ禍により、従来通りの事業を継続すべきかどうか、各地区公民館ごとに議論をしていく。	市民のライフスタイルや価値観の変化に伴い、事業の見直しを行い、生涯学習の継続、地域コミュニティの維持に資するよう努める。	市民のニーズに合わせた事業を実施するためにも、引き続き公民館運営委員会等で意見集約及び事業の改善を図っていく。				
					18		32		33										
	指標④	コミュニティ事業（体育事業・公民館まつり）	回	➡	22		22		22		かなり達成 (80%以上)					課題への改善提案	コロナ禍により、従来通りの事業を継続すべきかどうか、各地区公民館ごとに議論をしていく。	市民のライフスタイルや価値観の変化に伴い、事業の見直しを行い、生涯学習の継続、地域コミュニティの維持に資するよう努める。	市民のニーズに合わせた事業を実施するためにも、引き続き公民館運営委員会等で意見集約及び事業の改善を図っていく。
					7		28		22										

